

ジフォルタ®

◆点滴に使用する薬と点滴時間

- 点滴時間：30分

使用する薬	外観	点滴時間
ジフォルタ® 30mg/m ²		30分

- ジフォルタ®による副作用を軽減するために、8~10週間に1回 メチコバール®（ビタミンB₁₂）を筋注します。
- 薬の量は、副作用の程度などにより変更されることがあります。
- 点滴時間はあくまで目安であり、時間が前後することがあります。

◆スケジュール

週に1回、6週間連続で投与し、1週間休薬します。

49日間を1コースとして、治療を繰り返します。

◆内服薬の飲み方

- 症状があってもなくても、必ずお飲みください。

お薬の名前	用法用量、使用上の注意
パンビタン®末 	1回1包 1日1回 朝食後 毎日 ・ジフォルタ®による副作用を軽減するために使用します。

◆ 主な副作用

白血球減少

白血球が減少すると免疫力が低下し、風邪などの感染症にかかりやすくなります。

治療開始1～2週間後に白血球の値が最も低くなり、その後1～2週間かけて回復します。

うがい・手洗いなどの感染予防を心掛けましょう。

37.5度を超える発熱時、医師からあらかじめ処方された薬がない方は、病院へご連絡ください。

赤血球減少

貧血になり、めまい、だるさ、動悸、息切れなどの症状があらわれます。治療開始2～4週間頃に低くなります。

必要に応じて、薬で治療したり輸血があります。

血小板減少

血液が固まりにくくなり、歯茎からの出血や鼻血が出やすくなります。

治療開始1～2週間後に血小板の値が最も低くなり、その後1～2週間かけて回復します。

転倒やケガに注意してください。

必要に応じて、輸血があります。

【血液検査について】

副作用の確認のために、定期的な血液検査を行います。

◆ 点滴中

下記の赤字の症状があるときは、すぐに医療スタッフへお声かけください。

過敏反応（アレルギー）

寒気、吐き気、頭痛、めまい、発疹、息苦しい

治療開始1～2回目が起きやすいですが、治療を繰り返していても現れることがあります。

血管外漏出

点滴が漏れている、針を刺したところが痛い、熱っぽい、赤く腫れている、違和感がある

◆ 点滴終了後～1週間頃

倦怠感（だるさ）

疲れやすい、気力がない、体が重いなどの症状で、日常生活に支障が出る場合は、診察時に主治医へご相談ください。

◆ 1~2週間頃

下痢

普段より1日4回以上多く排便がある、または1回でも水のような便があるときは、[下痢止めを使用](#)することができます。

[強い腹痛や発熱を伴う場合、医師から処方された下痢止めで改善しない場合は、ご連絡ください。](#)

口内炎

口の中がヒリヒリする、しみる、痛くなることがあります。

[歯みがきやうがいで口の中を清潔に保ち、乾燥を防ぐことが大切です。またうがい薬や塗り薬を使用することができます。](#)

[がまんできない、水分もとれないほどの口の中の痛みがある場合は、病院へご連絡ください。](#)

◆ 2~3週間頃

脱毛

薬の種類によって抜けやすさは異なりますが、1~2か月後にはかなり目立つようになります。

髪の毛以外（まゆ毛、まつ毛など）全身の体毛も同様に抜けます。治療が終了すると、少しずつですが生えてきます。

◆ 蓄積性の副作用

色素沈着

皮膚に日焼けのようなしみができる、爪が黒ずむ

味覚障害

味を感じにくくなる、塩味を強く感じる、金属味がする、まずく感じるなど味覚に異常が出ることがあります。

◆ その他の副作用

非常にまれな副作用ですが、万が一赤字の症状がある場合は、すぐに病院へご連絡ください。

間質性肺炎

たんが絡まない乾いた咳、息苦しい、発熱

◆ 緊急時の連絡方法

困ったことがあったときは、下記にご連絡ください。

気持ち悪くて水分も摂れない
下痢が止まらない
37.5°C以上の発熱が続いている
薬の使用方法がわからない

など



診察券を用意する

代表：044-977-8111 に電話をかける

平日：8:30-17:00
土曜日：8:30-12:30

血液内科の
主治医または担当医

夜間帯・休診日
など左記以外の時間

血液内科の当直医

◆ 予約外受診の方法

病院本館正面玄関を入って右手の
「②再診受付」または「予約外受付機」で手続きした
後、
各診療科の外来でお待ちください。

※受付時間：平日8:30-11:30 土曜日8:30-11:00

- 生活上の注意については、別冊のパンフレットもご参照ください。
- ご不明な点がある場合は、遠慮なく医療スタッフにお尋ねください。

薬剤師